



エネゴリくん

エネルギーを、ステキに。



熱球ナイン

編集・発行 北海道新聞社マーケティングセンター
〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 TEL 011-210-6020 FAX 011-210-6384 nekkyu9@gmail.com ©北海道新聞社

全日本少年春季北海道予選
苫小牧沼ノ端中が初優勝 来春全国へ 2P

リトルシニア秋季全道大会
札幌新琴似シニア、5年ぶりV 3P

太陽グループ杯全道大会
北檜山ラウドネス 延長サヨナラで初V 5P

北海道チャンピオンシップ少年軟式野球大会
黒松内スターズが秋の全道一に 7P

11 2013年
月号

400円+税

主な記事

- 全国切符をかけて
ボーイズ秋季大会、ポニー新人戦 —— 4P
- <旭川特集>
チャンピオン大会、孝照杯、星野杯 —— 8P
- 学童フレッシュジュニア 星置スターズV —— 10P
- ファイターズジュニア 代表メンバー決定! —— 11P
- バッティングセンターを上手に利用しよう —— 17P
- 日ハム・大引選手「ぼくの野球少年時代」 —— 20P

写真:第5回全日本少年春季軟式野球北海道予選会より

私たちは、整形外科領域で、
地域医療と社会への貢献をめざします。

整形外科・リハビリテーション科・麻酔科

当院では整形外科領域のさまざまな疾患
(外傷、変形性関節症、小児疾患、関節リウマチ)
に対して必要に応じた医療を
提供しております。

2012年2月

新札幌へ移転開院

所在地:札幌市厚別区青葉町3丁目

地下鉄・JR駅近く、便利な場所です。

・JR新札幌 徒歩8分

・地下鉄新さっぽろ駅2番出口 徒歩8分

・バスセンター 徒歩10分



医療法人社団 悠仁会 羊ヶ丘病院

●整形外科 ●リハビリテーション科 ●内科 ●麻酔科

〒004-0021 札幌市厚別区青葉町3丁目1番10号

お電話の方は (011)351-2211 お気軽に
お電話ください

9月22日(日)、羊ヶ丘病院リハビリ室にて開催。前半は田中将大投手(楽天)と駒高の同期で夏の甲子園優勝を果たした鷲谷さんが、その後アメリカの短大でドラフト指名されマイナーリーグに入り、帰国後BCリーグでの活躍を経て引退を決定するまでの自身の野球人生を紹介。また、今後は就職が内定している金融業界で道を究める決意を語った。

後半のトークセッションでは、羊ヶ丘病院・岡村院長の質問に鷲谷さんが答える形で高校時代のエピソードなどを披露。会場に集まった選手、父母、指導者からも野球や勉強との両立についての質問があり、セミナーは盛況のうちに終了した。

自身の野球人生を熱く語る鷲谷さん

岡村院長(左)が鷲谷さんの肩の状態をチェックするひとコマも

「日本、アメリカ(高校・大学・プロ)いろいろな野球!」

第4回エンジョイベースボールセミナー

◎講演
「元〇〇がたくさんつく鷲谷修也さんが語る
いろいろな野球と文武両道の極意!!」

◎スペシャルトークセッション
鷲谷修也 & 岡村健司(羊ヶ丘病院 院長)

女子がんばれ 選手!

女子選手に質問!

今月は、仁木野球スポーツ少年団、標茶ジャイアンツ、札幌・石山アトムズ少年団、札幌・エルムファイターズの合計7人の女子選手にインタビューした。質問は①普段練習しているポジションは? ②野球を始めたのはいつから? ③将来の夢は?の3つ。



左から伊藤梨緒さん、伊藤菜緒さん

- 仁木野球スポーツ少年団
- 伊藤菜緒(小6、姉、左投左打)
- 伊藤梨緒(小6、妹、右投右打)
- ①サード
- ②小2
- ③声優、野球に関わっていたい



本間心都さん

- エルムファイターズ
- 本間心都(小6、右投右打)
- ①レフト、ピッチャー
- ②小2
- ③モデル、アイドル



左から加藤優奈さん、横田采果さん、日野雅紀さん

- 標茶ジャイアンツ
- 日野雅紀(小5、右投右打)
- ①ファースト、ピッチャー
- ②小2
- ③獣医師
- 横田采果(小5、右投右打)
- ①ピッチャー、ファースト
- ②小1
- ③看護師
- 加藤優奈(小5、右投右打)
- ①セカンド
- ②小3
- ③保育士



4季連続、通算24回目の優勝を達成した札幌シエールズ



優勝の表彰状を受け取る札幌シエールズ、池田主将

4季連続優勝、準V苦小牧

毎年春と秋に行われる女子軟式の大会。6チームが2組の予選リーグを行い、決勝は8月の全国大会とともにベスト8に進んだ札幌シエールズと苦小牧がライバルディアの戦いとなった。シエールズは二回に工藤の三塁打などで3点を挙げて点差を広げ、先発の武井が4安打1失点で完投、昨春から4季連続の優勝を決めた。ライバルディアは全試合継投で勝ち進んできたが、一歩及ばなかった。

第15回秋季北海道女子軟式野球大会

◆準決勝

札幌シエールズ 00001000 20000000 X 21

札幌シエールズ 00000001 2000001X 32

函館ドルフィンズ (北) 鶴川、永瀬、中村 (西) 竹内、佐藤、佐藤、竹内

◆決勝

苦小牧がライバルディア 00000010 1300001X 51

札幌シエールズ (苦) 武井、工藤 (苦) 武井、工藤 (苦) 武井、工藤 (苦) 武井、工藤

◆3、4位決定戦

札幌シエールズ 00000000 021211X 70

札幌シエールズ (六) 回コールドゲーム (六) 間所、菅野、阿部 (六) 立野、名和

予選リーグ

グループA	札幌シ	札幌ブ	函館	順位
札幌シエールズ		○2-0	○8-1	1
札幌シエールズ	●0-2		○2-1	2
函館ドルフィンズ	●1-8	●1-2		3
グループB	苦小牧	札幌	北海道	順位
苦小牧がライバルディア		○7-5	○7-0	1
札幌シエールズ	●5-7		○5-2	2
北海道グループビー	●0-7	●2-5		3

コーチにQ&A

野球少年へのメッセージ

野球を楽しみましょう。楽しむためには努力して勝つことです。指導者として選手をどう育てたいか、その気持ち、姿勢が大切です。座右の銘もある「姿勢心」がたずなわちこころです。服装、立ち方、走り方など、野球に取り組み心かすべて姿に表れます。まず姿から正していくこと。

島崎 圭介さん

1971年生まれ。北海道市出身。選手として甲子園、全日本大学選手権、都市対抗に出場。2001年札幌日大野球部監督。02年甲子園に11年北海道大学大コーチ。指導者を続けながらも月寒東整形外科に勤務、事務長の肩書を持つ。



チーム完成度の高さを見せた優勝・石山アトムズ

元球界のいま 高校野球監督から大学コーチに

北海道大学野球部コーチ 島崎圭介さん(42)

1989年平成元年、春季大会支部予選でのまさかの一回戦敗退を乗り越え、名門北海道高校野球部は5年ぶり29回目の夏季甲子園出場を果たした。地区予選でエースナンバー「1」をつけていた島崎さんにとつて2度目の甲子園への切符は、喜びに満ちたものとなるはずだった。しかしそれは一転、忘れられない出来事となる。甲子園での大舞台を前に、エースナンバー「10」にもならず2番手の「10」でも逃し、背番号が一気に「12」まで降格したのだ。あれから20数年経った今でもその悔しさは忘れられないと言ふ。

第2回ダイイチ旗争奪少年軟式野球大会決勝

準優勝は大正スカイファイターズ

10月14日 幕別町運動公園野球場 主催：株式会社ダイイチ

夏の各地区予選(札幌、帯広、旭川)を勝ち抜いた4チームが10月14日、幕別で決勝大会を迎えた。熱戦の結果、参加32チームの頂点に立ったのは永山中央野球少年団(旭川地区代表)。延長の末逆転で、粘る大正スカイファイターズ(帯広地区代表)を振り切った。

石山アトムズ2連覇

準優勝・中の島ファイターズ

この大会は豊平区14チーム、清田区9チーム、南区14チームの計37チームが参加し、5月28日には準決勝、決勝が行われ、決勝は石山アトムズが中の島ファイターズに10-3の4回コールドで勝ち、2年連続の優勝を達成。北野パワーズと東月寒レオンスの2チームが3位となった。

◆1次戦(5回戦)

大正スカイファイターズ 50000X 5

大正スカイファイターズ (発)五十嵐三本、白井、五十嵐 (大)井村、宮浦

▽二塁打 宮浦、竹内(大)

◆3、4位決定戦(7回戦)

大正スカイファイターズ 00000000 44

永山中央野球少年団 00000000 5X 5

永山中央野球少年団 (大) 橋、井村、宮浦 (大) 橋、井村、宮浦 (永) 杉山、藤田、山田、青木、藤田

▽二塁打 井村(大)

◆決勝(7回戦)

大正スカイファイターズ 00000000 44

永山中央野球少年団 00000000 5X 5

永山中央野球少年団 (永) 茂木、藤田、上田 (永) 茂木、藤田、上田 (永) 茂木、藤田、上田 (永) 茂木、藤田、上田

▽二塁打 上田(永)



1993年の大学4年、札幌6大学秋季リーグ戦。145キロの豪速球をうならせリーグ優勝、MVPに輝く(島崎さん提供)

甲子園という夢の舞台を選手として2度も踏み、監督としてもチームを導くという輝かしい実績を持つのが今月登場の島崎圭介さんだ。2011年3月から母校北海道大学野球部のコーチを務める島崎さんは、選手として立ったことのある大学野球の「聖地」神宮に今度は指導者として立つことを目指している。

その豪速球は、強い信念で継続したあることにより生まれた。小学4年から現役を退く25歳まで、1日も欠かさなかった腕立て伏せだ。そうして鍛えた体で父親の龍介さん相手に、投げ込みもした。「あれがあったから今日がある」と感謝の気持ちを持たない。

2001年に札幌日大高教員となり同校野球部監督就任。その翌年にセパツでチームを甲子園に導くという結果を残す。選手で2度出場しさらに監督でも、というのは類まれなことだ。母校北海道大学野球部のコーチは、監督の日比野勇さんの「お前手伝えの一言で決まった。日比野さんとは、高校時代からの師弟の間柄。

「野球をやってきたお陰で」と野球人としての縁の大切さをかみしめる。次の目標は指導者としてチームを神宮大会へ導くこと。本業とコーチ業の「二刀流」での挑戦だが「信念の島崎」を貫く覚悟だ。



ベンチ前で声援を送る中の島ファイターズ